



## ① 目指す学校

### 【目指す学校像】

笑顔あふれる・元気あふれる・愛情あふれる学校

- 子供が達成感・充実感を味わい、子供の笑顔があふれ、安全・安心で、学校生活を送れる学校
- 保護者・地域社会と連携し、子供の元気があふれ、明日も行きたいと思える学校
- 教育公務員の自覚があり、子供への愛情にあふれ、信頼される教職員が生き生き働く学校

- ★ 子供たちに深い愛情をもって接し、笑顔・元気あふれる児童を育てる。また、子供たちの健やかな成長を願い、保護者・地域の方と共に、教職員が一丸となって教育活動を進める。
- ☆ 小中一貫教育を充実させ、地域に愛される学校・地域を愛する子供・母校を愛する子供を育成する。
- ☆ 組織体制で「いじめ対応」を行い、子供の安全・安心を確保し、明日、学校に行きたいと思える学校づくり。

### 【教育目標 ⇒ 目指す児童像】 ※ ◎ 重点目標

- じょうぶな子 ⇒ 自らの体力を高め、健康で安全な生活を送ることができる児童
- ◎ よく考える子 ⇒ 基礎的・基本的な学力を確実に身に付け、自ら学び考えることのできる児童
- なかよくする子 ⇒ 社会規範を守り、望ましい人間関係を築くことができる児童
- がんばる子 ⇒ 自分の存在価値を認め、自分の夢に向かって頑張ることができる児童

### TripleA+1(トリプルAプラスワン)の実施

- A あいさつ 人と人とのつながりが大切。まずは、あいさつから。
- A ありがとう 感謝する心を忘れない。それは、親にも友達にも。
- A あせをかく 何事にも力を抜かずに頑張れる。遊びも学びも。
- +A あかるい心 いつも前向きな明るい心をもって、みんなに優しく。

### 【学校経営の基本理念】

- 地域運営学校(コミュニティ・スクール)として、学校・保護者・地域社会が三位一体となった教育活動を展開し、子供に『生きる力』を育成する。
- 義務教育9年間を視野に入れて、知・徳・体の基礎的・基本的な指導を行い、地域・社会に貢献できる人間としての基礎を培う。

### 【目指す教職員像】

- 子供に深い愛情を注ぎ、厳しさと温かさを持ち、見守り・認め・伸ばす指導ができる教職員
- 笑顔・元気あふれる児童を育成するために、自らも笑顔で心身ともに常に健康な教職員
- 自己の資質・能力を高めるために、研修と修養に励み、深みをもった教育ができる教職員

### トリプルスの実施

- Search 見守る 心のアンテナを常に高く、子どもたちの心の変化に気付く。
- Speed 素早く(啐啄同時) 何か変だなと感じたら、すぐに対応する。
- Spirit 教育熱 愛情と教育者としての誇りをもって、指導・支援をする。

## ② 中期的な目標と方策

- 子供に『生きる力』である「確かな学力、豊かな人間性、健やかな心と体」を育む教育活動が展開される学校づくりを推進する。
- 子供に普遍的な道徳心や規範意識を身に付けさせ、社会や時代の変化や困難にも主体的に対応できる能力を育成する。そのために、自ら考え伝え合う教育活動が行われる学校づくりを推進する。
- ICT 機器(1人1学習用端末等)の活用・プログラミング教育の推進を行うことにより、今日の情報社会の時代に対応できる児童を育成する。そのための教員のスキルアップ・環境整備を重点的に行う。
- 学校組織体制(いじめ対策委員会等)・施設設備等の教育環境の点検・整備・改善に努め、いじめ、不登校、発達課題、進学・進級、学力不振等、子供や保護者の相談体制を充実させ、安全安心で信頼される学校づくりを行う。
- 地域運営協議会と協力して、地域・保護者と共に教育活動を行うことによって、愛校心・地域愛を育む。
- 松が谷中学校・松が谷小学校とともに小中一貫教育を推進していく。

## ③ 令和7年度、力を入れる学校づくり

- ★ なかよし班を中心とする家族のような温かな異年齢集団の中で、心豊かに笑顔あふれる活力のある学校づくり
- ☆ 今年度迎える創立50周年に向けて、松が谷中学校・松が谷小学校とも連携し、地域とゆったり・温かくつながれる学校(3校創立50周年)づくり

#### ④ 令和7年度の取り組み目標と方策

1 『健やかな心と体』を育むために ☆ じょうぶな子		A:よく達成できた B:概ね達成できた C:もう少し D:達成できなかった		
目標	具体的な取り組み目標・方策	自己評価・学校評価	達成度	今後の対策・展望
○ 体の健康の増進	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 体力を増強する。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全校持久走(11月)</li> <li>・ 短縄チャレンジ(3学期)</li> </ul> </li> <li>★ 食生活の改善・健康な体を育む食育               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 給食&amp;図書コラボ</li> <li>・ ウェルカム給食(毎学期)</li> <li>・ 野菜の皮むき体験等 (トウモロコシ・ソラマメ・グリンピース等)</li> <li>・ 食育の授業(学級活動)</li> </ul> </li> </ul>	<p>☆今年度も11月に全校で持久走(2週間)、3学期に短縄チャレンジ(3週間)を「頑張りカード」を用いて取り組んだ。短縄チャレンジでは、昼休みに保健・体育委員会と教員が検定を行い、運動不足になりがちな冬の期間の体力・健康増進を図った。</p> <p>☆低学年を中心に野菜の皮むき体験をし、全学年では、農作物の栽培を行い、「食」に対する意識付けを行った。</p> <p>☆児童アンケートで「給食は、自分の食べられる量を残さず食べています。」の項目で年間平均90.4%の肯定的な回答が得られた。</p>	B	<p>☆子供たちの健康増進のためには、「運動」・「食」は、とても大切な要素となる。これからも、継続的にこれらの取り組みを行っていく。</p> <p>また、キャリア教育の一環として、「自然に触れ、土からの生産活動を通して仲間と協力することで、児童の社会性を育成する。」をテーマに全学年、農作物の栽培を計画的に行う。</p>
○ 心の健康の増進	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 悩みの共有(一人で抱え込まない)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SCによる4・5・6年生全児童の面談</li> <li>・ 児童実態アンケート調査(毎学期1回)</li> </ul> </li> <li>★ 個に応じた心の安定               <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 特別支援教室(つばめ)拠点校</li> <li>・ つばめ教室での指導を充実させ、通常の学級での学校生活に活かす。</li> <li>・ 連携型個別指導計画の見直し</li> <li>・ 教員の特別支援教育の研修の強化</li> <li>・ 年度始めの保護者面談 (つばめ学級保護者面談以外に、管理職・養護教諭・学級担任による)</li> </ul> </li> </ul>	<p>☆今年度は、4年生からSCによる面談(4・5・6年生)を行った。SCとできる限り早い段階で面識をもつことで、悩みを一人で抱え込まないような工夫を行った。</p> <p>☆必要に応じて、週に1回程度、対応が必要な児童に対して、校内委員会を開催した。SC・SSW等と連携を取りながら、特に一人ひとりの適性就学について検討した。</p>	A	<p>☆児童理解・保護者との連携において、SCの役割が大きい。校内委員会をSCが出勤する木曜日に変更設定し、より密に情報共有を行い、特に特別支援教育が必要な児童・不登校児童の対応を図る。</p>
2 『確かな学力』を身に付けさせるために ☆ よく考える子(今年度 重点目標)				
○ 言語活動を中心に、考え表現できる子の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 校内研究の活性               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校内研究を「思考・判断・表現の力を高める指導 ~どの子も考え表現できる活動を通して~」の2年目として、研究領域を全教科に広げる。年間2本の研究授業を行う。</li> <li>★ 言語活動の充実(ことば朝会)                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 俳句・短歌・川柳作りの推進</li> <li>・ 日本古来の言葉の文化に触れ楽しむ。</li> <li>・ 創立50周年を意識した取り組みを行う。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	<p>☆9月9日(6年生)10月23日(3年生)に研究授業を年間2回行った。特に6年生は体育・3年生は社会科の授業で行われた。過去2年間、国語科で行ってきた研究を他教科に広げた。</p> <p>☆年間10回の「ことば朝会」を行い、毎回「ことばLAND」を発行した。10月には、創立50周年を祝う標語を全校全児童が作り、学校愛・地域愛を意識させた。</p>	B	<p>☆今年度は、他教科へ広げた。来年度は、このテーマでの最終年として、継続して研究を進める。</p> <p>☆来年度は、2学期に学習発表会がある。全児童が自分を表現できる学校行事とする。</p>

○ 外国語教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 外国語に慣れ親しむ</li> <li>・ 外国の子供たちとのオンライン交流 (4年生)【台湾の懐生小学校を予定】</li> <li>・ イングリッシュデイ(学期に1回)</li> </ul>	<p>☆6月23日・2月17日にイングリッシュデイを開催した。 4年生がオンライン交流で、1月20日台湾の懐生小学校の子供たちと交流した。</p>	B	<p>☆継続は、力なり。「外国語活動・外国語教育」特に低学年の裁量の時間を外国語活動に充てる。</p>
○ 一人一人に応じた児童の学力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ ICT機器の有効活用</li> <li>・ クロームブック・ミライシードの活用</li> <li>★ 小中一貫教育を使って</li> <li>・ 八王子市が小学4年生から中学まで継続して行う学力調査の結果を踏まえ、一人一人の課題に対応する。</li> <li>・ 学力定着プロジェクトチーム設立(学力定着度調査(小学4年～中学3年)の分析)</li> <li>・ はちおうじっ子ミニマムの活用</li> <li>★ 補習授業の活用</li> <li>・ 夏季休業中3日間、算数科補習授業。</li> <li>★ 教科担任制の一部実施</li> <li>・ 5・6年生を対象に単元等で実施する。</li> </ul>	<p>☆6月30日・10月8日・1月14日に計画通り、小中一貫教育推進のために3校が集まった。小中共に50周年を迎え各種の行事で協力することで、その連携も深まった。学力向上についても意見が交わされた。 ☆夏季の算数科補習授業を計画通り実施した。 ☆5・6年生で、外国語と保健の一部単元で、教科担任制を実施した。</p>	B	<p>☆来年度は、1学期を3日間延長する。その期間の午後を算数科補習授業に充てる。児童がより参加しやすい場を提供する。 ☆教科担任制の有効な活用を検討し、実施する。</p>

### 3 『豊かな人間性』を育むために

#### ☆ なかよくする子

○ コミュニケーション能力の向上(あいさつから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ TripleA+1(トリプルAプラスワン)の実施</li> <li>・ 【あいさつ】【ありがとう】【あせをかく】【あかるい心】を合言葉に「気持ちの良い挨拶。」「いつも感謝の心を忘れない。」「何事にも全力になる」「前向きな優しい心をもつ」を児童に意識付ける。</li> <li>・ 児童委員会・地域(青少対・年2回)のあいさつ運動を充実させ、保護者・地域に挨拶の輪を広げる。</li> <li>★ 地域への参加</li> <li>・ 青少対あいさつ運動(年2回)</li> <li>・ 今年度の50周年記念に向けて、松が谷・鹿島地区青少対とも連携し、地域とのつながりを強化する。</li> </ul>	<p>☆TripleA+1(トリプルAプラスワン)を掲げ3年目となるが、保護者アンケートで、「この取り組みを知っているか」の項目で、年間平均96.9%の肯定的な回答が得られた。 児童も年間平均95.3%(昨年度より2.5%UP)が自分からあいさつをしていると回答した。年々、「あいさつ」に対する児童の意識が高まってきている。保護者アンケートの自由記述にもその旨の肯定的な意見があった。 ☆11月4・7日に青少対あいさつ運動を実施した。</p>	B	<p>☆学校内のあいさつは、かなり定着してきた。このあいさつを家庭や地域に広めていかなければならない。 ☆鹿連協の納涼祭・青少対の清掃活動、地域音楽祭・はちビバのわくわくランド等、児童の参加率が上がる工夫が必要である。</p>
○ いじめ防止強化と的確な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ いじめの早期発見と継続的な見守り</li> <li>・ いじめの未然防止・不登校児童・登校渋りの児童へ焦点を当て、早期・適切な対応を行い、児童一人一人の心のケアに努める。</li> <li>・ 毎週(火曜日)授業時間1コマ(45分間)「いじめ対策委員会」を開催。(必要に応じて随時開催)</li> <li>・ 週当たりの授業時数を27コマとすることで、月曜日の6校時を児童との触れ合いの時間に位置付け、心の安定を図る。</li> <li>★ 子どもへの働きかけ</li> <li>・ 心のSOSを発信・いじめ防止の授業</li> <li>・ 「いのちの大切さを共に考える日」(6月2日)</li> <li>・ 毎学期、「その子、どうしてる？ つながってる？」を学級担任、「この木何の木気になる木」を専科教員が記入し、児童の実態把握・対処を確認する。</li> </ul>	<p>☆毎週火曜日に「いじめ対策委員会」に行き、全職員の共通理解を図った。「いじめ」については、早期発見・早期対応を行った。事後の保護者アンケートでは、「いじめ防止」の項目で、年間平均86.9%の肯定的な回答が得られた。 ☆月曜日の児童との触れ合いの時間もあつてか、重大ないじめの事案は、発生しなかった。 ☆特に不登校・登校渋りの児童に対しては、校内委員会を開き、その子にあった支援を考え、関係諸機関等へもつないでいった。</p>	B	<p>☆「いじめの未然防止」・「いじめの早期発見」と「事後対応」・「継続的な見守り」は、もともと基本的な事である。今後「いじめ」に対しては、管理職を含め学校組織全体で丁寧に対応する。 ☆不登校・登校渋りの児童に対しては、教員だけでなく、SCやSSW等、いろいろな方面から、関わっていく。</p>

<p>○ 保幼小連携を推進する。(小1ギャップの解消)</p>	<p>★保幼小連携の充実 ◇ 大塚保育園と新たに聖徳多摩中央幼稚園と交流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員連携交流会(8月)</li> <li>・合同避難訓練(12月)</li> <li>・園児との交流(3学期)</li> </ul>	<p>☆今年度は、新たに聖徳多摩中央幼稚園との交流を始めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8月26日に聖徳多摩中央幼稚園と本校で、大塚保育園訪問を行い施設見学・保育内容の説明を受けた。</li> <li>・翌日27日、代表者が集まり、2園と本校で情報交換・交流を行った。</li> <li>・12月3日鹿島小学校の校庭に2園の園児が避難する合同避難訓練を実施した。</li> <li>・2月10・13日に、それぞれの園の園児が訪問し、鹿島小学校を見学した。</li> </ul> <p>☆2園1校で、幼保小の「架け橋プログラム」を作成した。</p>	<p>A</p>	<p>☆今年度、2園1校で作成した「架け橋プログラム」を基に、大塚保育園・聖徳多摩中央幼稚園とさらなる保幼小連携の充実を行う。</p>
<p>○ 小中一貫教育を充実する。</p>	<p>★ 小中一貫教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫3校(松が谷中・松が谷小・鹿島小)の交流活動の計画、実施、評価、改善を行う。</li> <li>・気持ちのよい受け答えをしよう。(子供たちがいろいろな物事に「反応」できる。)</li> <li>・「はちおうじっ子サミット」(小中一貫教育)で、いじめ防止を考える。児童発信による取り組みを行う。(児童会を中心に)</li> <li>・3校共通の人権教育の取り組みとして、12月の「ことば朝会」で人権標語を作る。</li> </ul>	<p>☆7月30日に第4回の「はちおうじっ子サミット」が開催された。本校でも代表児童が松が谷中・松が谷小の代表とともに参加した。いじめをなくすために「あいさつ」の重要性を再確認し、その後のあいさつ運動を充実させた。</p> <p>☆今年度も、12月のことば朝会を人権標語の朝会として「なかよし班」の発表として、取り組んだ。</p>	<p>B</p>	<p>☆来年度は、特に「キャリア教育」について「希望あふれる9年間 3校同年 51 YEARS」として松が谷・鹿島地区の特性を活かし、社会的自立に向けて実践的態度を育成する。を3校共通のテーマとして、取り組む。</p>

#### 4 子供たちが夢をもてる・その夢を応援できる「安全安心な学校」づくりのために

##### ☆ がんばる子

<p>○ 思いやりの心の育成(なかよし班を中心に)</p>	<p>★ 異年齢集団(なかよし班)の更なる充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校遠足(5月1日)</li> <li>・サツマイモ栽培・収穫祭(10月18日)</li> <li>・なかよし班遊び(朝の集会)</li> </ul> <p>★ 音楽会(11月14日(金)15日(土))で、子供たちの感性を育む。</p> <p>★ 地域への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域クリーン活動(年3回・青少対連携)</li> <li>・地域音楽祭への参加(会場:松が谷中)</li> </ul> <p>今年度は、3校創立50周年の記念</p> <p>★ 読書活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者による読み聞かせ活動</li> </ul>	<p>☆本校の大きな特色である異年齢集団(なかよし班)の活動は、今年度も6年生が中心となり、子供たち同士のつながりを強める大きな役割を果たした。なかよし班活動の大きなイベントである「収穫祭」は、今年度はサツマイモの収穫量が猛暑のため激減したが、保護者参観2年目として定着した。</p> <p>保護者アンケートでも、学校が力を入れている項目で、年間平均99.4%知っているという回答があった。</p> <p>☆地域クリーン活動が、6月28日・10月4日・3月7日に予定通り実施された。3月には、鹿島地区で50人近い児童・保護者の参加があった。</p> <p>地域ふれあいコンサートが12月6日に松が谷中学校で行われ、5年生が合唱・合奏で参加した。</p> <p>☆「読み聞かせ活動」が継続して行われた。</p>	<p>A</p>	<p>☆今年度、創立50周年を迎え、来年度は、創立100周年に向けての第1歩の年になる。鹿島小学校の伝統である「なかよし班」の活動を、これからも長く継続できるように、推進していく。</p> <p>☆今年度は、地域小中3校の同時創立50周年を記念して、地域活動の活性化を行ってきた。この流れを来年度も継続して行っていく。</p> <p>☆読書離れが進む中、「読み聞かせ活動」を継続して行けるよう働きかけを行う。</p>
-------------------------------	--	--	----------	--

<p>○ 安全安心の生活を送るための取り組み</p>	<p>★ 安全・安心な教育環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ セーフティ教室 (交通事故、連れ去り防止)、</li> <li>・ 薬物乱用防止教室</li> <li>・ 交通安全教室、自転車安全教室</li> <li>・ 情報モラル (インターネット・携帯・SNS等)</li> </ul>	<p>☆6月7日にセーフティ教室・薬物乱用防止教室を行った。 1・3・5年生が交通安全教室・自転車安全教室を行った。 今年度は、情報モラルの出前授業については、日程の関係で実施することができなかった。</p>	<p>C</p> <p>☆自分の身は、自分で守れるように外部の協力を得ながら、正確な知識を身に付けさせることが大切である。特に、この情報化社会の被害者、あるいは加害者にならないようにするために、計画的にSNS等の外部講師による出前授業を行う。</p>
<p>○ 学校情報の充実発信</p>	<p>★素早く・正確な情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年間2回の学校評価(7月、12月)</li> <li>・ 学校・学年だより等の発信の充実</li> <li>・ 学校HPの充実</li> </ul> <p>閲覧数:一昨年度・昨年度同様に50000越えを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 創立50周年のコーナーを新設して、学校愛・地域愛の増進に努める。</li> </ul>	<p>☆保護者アンケートの「学校は、保護者に対して、適切に情報を提供している。」の項目では、年間98.2%の肯定的な回答が得られた。閲覧数については、今年度途中でホームページの仕様が大幅に変更されたことにより、判別が不可能であった。 また、創立50年の情報については、コーナーの開設はできませんでしたが、随時、情報発信を行った。</p>	<p>A</p> <p>☆来年度も保護者アンケートにおいて、高い肯定的な回答が引き続き得られるように、保護者・地域の皆様により良い情報発信を継続する。</p>

